

(別記)

2023 年度野洲市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市では、整備された水田（基盤整備率約 98%）で水稲・麦・大豆を中心とした土地利用型の水田農業が展開されている。一方、大都市近郊であることを利用した園芸作物の生産振興にも取り組まれている。

その中で、麦・大豆は集落営農組織や担い手農家を中心に作付けされており、その大部分がブロックローテーションによる団地化や土地利用集積により栽培されている。

しかし、近年では麦・大豆の収量や品質が低下傾向にあることから、これらの向上を目指した栽培技術の改善に取り組む必要がある。また、麦・大豆の栽培に適さない地域等への主食用米以外の導入や消費者の環境意識・食へのこだわりに応える作物の生産振興などにより、水田をフル活用した農業者の所得向上に取り組む必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市ではブロックローテーションによる「水稲 2 作一麦一大豆」の 3 年 4 作体系が定着していることから、麦・大豆の作付けを基本とした、集落での話し合いによる生産調整に取り組む。その中で、ほ場の団地化（集約・集積）、排水対策の徹底、栽培技術改善、不作付地の活用等により、単収や品質の向上、農地の保全や担い手の確保を目指す。

また、都市近郊で消費地に近い立地条件や担い手による農業経営の展開といった本市の特徴を生かしつつ、商工業者や実需者と連携して、高収益作物の導入、生産・販路の拡大に努める。

これらの取組を進めることで、社会情勢等の変化に動じない農業経営の実現や農業者の所得安定、収益力強化を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

担い手への農地集積・集約化（集積率約 80.3%）や認定農業者の状況に応じた法人化を進めつつ、水稲を中心とした作付体系を維持しながら、地域ぐるみで取り組むブロックローテーションに高収益作物や転換作物等の作付けを組み込むことで、多様な集落の農業形態に合わせた水田の有効利用を図る。

その中で、農業者からの申告等を基に水田の利用状況を点検し、その結果や地域の事情を踏まえた農業者や関係団体との話し合いや畑地化支援の活用により、転換作物の本作化を進める。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産目標に沿った作付面積を目指すとともに、安全・安心な売れる米づくりの推進に向けて、有機栽培米、魚のゆりかご水田米をはじめとする環境に配慮した栽培を推進する。また、既に定着している学校給食米への供給を継続することで、地産地消を促進する。

(2) 備蓄米

需要に応じた作付けを推進する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米
需要に応じた作付けを推進する。

イ 米粉用米
需要に応じた作付けを推進する。

ウ 新市場開拓用米
需要に応じた作付けを推進する。

エ WCS 用稲
需要に応じた作付けを推進する。

オ 加工用米
需要に応じた作付けを推進する。

(4) 麦、大豆、飼料作物

実需者が求める生産性の高い優良品種への転換、湿害を回避するための排水対策の徹底等により、収量・品質の向上を図る。

(5) そば、なたね

需要に応じた作付けを推進する。

(6) 地力増進作物

需要に応じた作付けを推進する。

(7) 高収益作物

都市近郊という立地条件を生かした販路の開拓と、契約栽培等による生産拡大・安定供給・品質の確保を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1265	0	1245	0	1340	0
備蓄米	15	0	0	0	0	0
飼料用米	63	0	80	0	80	0
米粉用米	1	0	4	0	4	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	2	0	2	0
麦	662	4	634	0	634	0
大豆	630	626	637	630	637	630
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	10	0	0	0
高収益作物	41	27	47	37	47	37
・野菜	14	2	11	3	11	3
・花き・花木	1	0	1	0	1	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	26	25	35	34	35	34
その他	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度(実績)	目標値
1	野菜、花き・花木、果樹、 雑穀、地力増進作物(基幹作)	地域振興作物助成 (基幹作)	地域振興作物作付面積	(令和4年度) 5ha	(令和5年度) 11ha
2	野菜、花き・花木、果樹、 雑穀(二毛作)	地域振興作物助成 (二毛作)	地域振興作物作付面積	(令和4年度) 3ha	(令和5年度) 15ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名: 野洲市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成(基幹作)	1	14,000	野菜、花き・花木、果樹、雑穀、地力増進作物	作付面積に応じて支援
2	地域振興作物助成(二毛作)	2	14,000	野菜、花き・花木、果樹、雑穀(二毛作)	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

※2 「作期等」は、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※3 「用途等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

地域振興作物一覧(市設定分)

野洲市農業再生協議会

対象作物(下限面積1a以上)

野菜			花き・花木		果樹	雑穀	地力増進作物
だいこん	しそ	カブ	アスター		ナシ	小豆	ソルガム
ラディッシュ	キャベツ		かすみそう		ブドウ	ごま	クローバー
かぶ	セルリー		カーネーション		モモ	あわ	エン麦
すぐき	レタス		きく		カキ	きび	レンゲ
にんじん	パセリ		キンギョソウ		オウトウ	ひえ	ヘアリーベッチ
ごぼう	サニーレタス		キンセンカ		ブルーベリー	ハトムギ	コスモス
れんこん	モロヘイヤ		キキョウ		イチジク	えごま	イタリアンライグラス
しょうが	アスパラガス		ケイトウ		りんご	らっかせい	青刈りトウモロコシ
さつまいも	かぼちゃ		コスモス		桃		大豆
じゃがいも	とうもろこし		小ぎく		桑		ベルシアンクローバー
さといも	青さやいんげん		ゴテチャ				
やまいも	ササゲ		シクラメン				
ヤーコン	キヌサヤ		スターチス				
セレベス	エンドウ豆		ストレッチア				
はくさい	そらまめ		ストック				
ほうれんそう	えだまめ		センニチコウ				
こまつな	カリフラワー		チューリップ				
ちんげん菜	ブロッコリー		チドリソウ				
みずな	オクラ		トルコキキョウ				
みつば	きゅうり		なでしこ				
しゅんぎく	ズッキーニ		パンジー				
みぶ菜	うり類		バラ				
日野菜	なす		ひまわり				
そば菜	あおとう		べに花				
サラダ菜	ししとう		マリーゴールド				
花菜	とうがらし		やぐるまそう				
青菜	トマト		ユリ				
漬け菜	ミニトマト		ラン				
ねぎ	ピーマン		リアトリス				
わけぎ	食用菊		ローダンセ				
ニラ	菜の花		ワレモコウ				
セリ	いちご		切り花用菜の花				
ふき	メロン		ほおずき				
ウド	すいか		しきみ				
たまねぎ	きのこ類		葉ボタン				
にんにく	マコモダケ		しば				
らっきょう	きくいも		花木				
みょうが	くわい						

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

野洲市農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
野洲市農業再生協議会	3,024,000	3,024,000	2,968,000

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

3,024,000円

整理番号	用途※1	作期等※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計② ※5	所要額 ①×② (円)				
				戦略作物							高収益作物				その他								
				大豆	飼料作物	米物用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	精米増産用米※4	そば	なたね	地方産産物	野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作物						
1	地域振興作物助成(基幹作)	1	14,000									1,100			450	70		60	1,680	2,352,000			
2	地域振興作物助成(二毛作)	2	14,000												300			140	440	616,000			
				実面積	0	0	0	0	0	0	0	1,100	0	0	450	70	0	60	1,680	2,352,000			
				実面積	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	0	0	140	440	616,000			

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
 ※2 「作期等」は、基幹作対象とする用途は「1」、二毛作対象とする用途は「2」、耕畜連携で二毛作対象とする用途は「4」と記入してください。
 ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
 ※4 「合計(基幹)」は、基幹作対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)」は、二毛作対象とした設定の実面積を記入してください。
 ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
 ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
 (注) 用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

<追加配分等を受けた場合>

①産地交付金の活用方法の明細(個票)に記載する金額を上限として、整理番号1に優先的に配分する。

②①の残額を整理番号2に配分する。

※ 単価については、1,000円未満を切り捨てる。

<減額調整時の調整方法>

下記5. のとおり

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

①まず、整理番号1に優先的に配分する。

②次に、整理番号2に配分する。

※ 単価については、1,000円単位で調整する。

6. 高収益作物について

黒大豆、小豆

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	野洲市農業再生協議会			整理番号	1	
使途名	地域振興作物助成（基幹作）					
対象作物	別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀、地力増進作物					
単 価	14,000円/10a（追加額に応じて16,000円/10aを上限として単価を調整する。）					
課 題	水田農業経営の収益力向上を図るため、収益性が高い品目や地域で需要が高い品目の作付けを含め、複合化を図る必要がある。また、農業生産の維持向上に向けて、環境に配慮しつつ農地の地力増進を図る必要がある。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域振興作物等 作付面積	目標	11ha	7ha	9ha	6ha
		実績	6ha	7ha	5ha	
内 容	地域振興作物（別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀、地力増進作物）に対し、その作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 出荷・販売を目的として地域振興作物（別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀、地力増進作物）の作付けを行った農業者または集落営農組織。</p> <p>○対象農地 水田活用の直接支払交付金交付対象農地</p> <p>○取組の要件 野菜、花き・花木、雑穀の販売を行うこと。 交付対象面積（対象品目の累計）が下限面積（1a）以上であること。 地力増進作物については、令和5年度末までに鋤き込みを行うこと。 果樹等の永年性作物は、令和5年以降の新植で、植栽から3年以内の作物を対象とする。</p>					
取組の 確認方法	営農計画書、現地確認、種子の購入伝票、作業日誌、JA等需要者への出荷確認、出荷契約書、販売証明書（契約書、領収書等）、代金が入金された通帳等で確認する。					
成果等の 確認方法	当年12月までに支払対象面積の集計で確認する。					
備考	支援年限は令和7年度とする。ただし、必要に応じて見直すことができるものとする。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5・4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	野洲市農業再生協議会		整理番号	2		
使途名	地域振興作物助成（二毛作）					
対象作物	別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀（二毛作）					
単 価	14,000円/10a（追加額に応じて16,000円/10aを上限として単価を調整する。）					
課 題	水田農業経営の収益力向上を図るため、収益性が高い品目や地域で需要が高い品目の作付けを含め、複合化を図る必要がある。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域振興作物等 作付面積	目標	2ha	8ha	10ha	10ha
		実績	12ha	13ha	3ha	
内 容	地域振興作物（別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀）に対し、その作付面積（二毛作）に応じて助成する。					
具体的要件	<p>○助成対象者 出荷・販売を目的として地域振興作物（別紙地域振興作物一覧にある野菜、花き・花木、果樹、雑穀）の作付けを行った農業者または集落営農組織。</p> <p>○対象農地 水田活用の直接支払交付金交付対象農地</p> <p>○取組の要件 野菜、花き・花木、雑穀の販売を行うこと。 交付対象面積（対象品目の累計）が下限面積（1a）以上であること。 果樹等の永年性作物は、令和5年以降の新植で、植栽から3年以内の作物を対象とする。</p>					
取組の 確認方法	営農計画書、現地確認、種子の購入伝票、作業日誌、JA等需要者への出荷確認、出荷契約書、販売証明書（契約書、領収書等）、代金が入金された通帳等で確認する。					
成果等の 確認方法	当年12月までに支払対象面積の集計で確認する。					
備考	支援年限は令和7年度とする。ただし、必要に応じて見直すことができるものとする。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5-4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3～4年度の目標の記載は不要です。

高収益作物(特認)に係るデータ

1. 農業再生協議会名

野洲市農業再生協議会

2. 収益性データ

作物名	10a当たりの収量 (kg/10a)	販売単価 (円/kg)	10a当たりの諸経費 (円/10a)	10a当たりの収益 (円/10a)
丹波黒大豆	106	1,320	37,005	102,915
早生黒大豆	153	695	34,157	72,178
小豆	75	1,100	24,686	57,814